

# バリアフリーまちづくり通信

発行: 東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和7年11月号



大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927  
 ←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

## 第58回 まちづくり構想部会を開催しました 令和7年11月13日

東淀川区西部地域における大阪市の取組や各地域での活動状況などについて、話し合いました。

### 柴島浄水場等の 開発用地 について 情報提供

大阪市計画調整局から、柴島浄水場の開発用地等にかかる都市計画変更手続きについて情報提供がありました。

【参考】報道発表資料 大阪都市計画案の公衆縦覧及び意見書の受付(大阪市ホームページ)→

- ◆淡路駅エリアの将来像にあった用途地域に変更するとともに、地区計画を決定する。  
 現況、柴島浄水場のあるエリアは、第一種住居地域だが、浄水場機能がなくなって開発が可能となるエリアは、商業地域に変更し、将来開発を募集したときに多様な機能を導入できるよう、制限を緩和していく。浄水場の機能が引き続き残るエリアは、他の浄水場と同様の準工業地域に変更する。
- ◆地区計画については、今回は、地区計画の方針を定め、今後のまちづくりの具体化における目標等を明確化する。今後、柴島浄水場の機能集約や各種プロジェクトの進捗に応じて、地区整備計画を定める予定である。



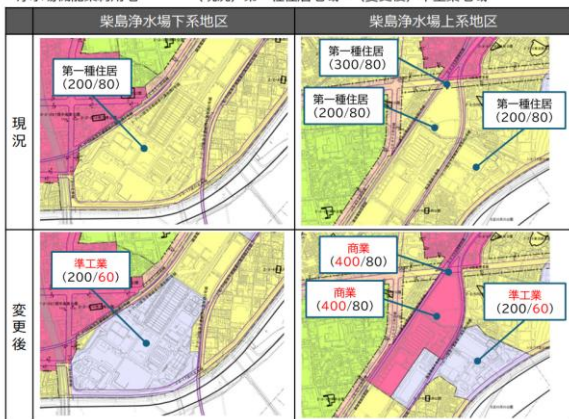
#### <地域の皆さんからの主な意見>

- ◆歌島豊里線に歩道橋を整備し、それが開発エリア内の施設のテラスなどにつながり、施設に直接エントリーできると面白い。
- ◆鉄道の高架下を歩いていくうちに、気が付くと開発エリアについているとなればいい。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、「箕面市では、2つの開発エリアを歩道橋でつないでいるが、歩いている人に歩道橋と感じさせないよう、市が屋根付きの歩道橋を2億円かけて整備した。」とのお話がありました。

#### 用途地域(案)の概要

淡路駅エリアの将来像にあった用途地域へ変更し、望ましい市街地の形成を誘導

・将来開発用地 (現況) 第一種住居地域 → (変更後) 商業地域  
 ・浄水場機能集約用地 (現況) 第一種住居地域 → (変更後) 準工業地域



### 東淀川区での 地域防災 について 情報提供

東淀川区役所 地域課から、地域防災の取り組みについて情報提供がありました。

- ◆100～150年といった周期で地震は発生していて、発生確率も上がっている。いつ地震が起こってもおかしくないので注意する必要がある。東淀川区の震度予測などの情報は「マップナビ大阪」(右に記載のQRコード)で確認できる。
- ◆東淀川区では、小学校区ごとに「地域防災計画」を策定。避難経路は、策定時からずいぶん経つのでまちの変化に応じて見直す必要がある。



下新庄地域防災計画(防災マップ【地震時】)



### 情報提供 & 意見交換

- ◆啓発地域では10月にワークショップ「未来会議」を開催。ほおっておくとゴーストタウンになってしまうので、まちの方針として意見をとりまとめ、開発のヒントになればと考えている。
- ◆下新庄地域ではアクションプランのスローガンを決め、工事中の仮囲いなどを利用して、地域の活動・行事紹介や、魅力や将来像をアピールをしていく方法を検討中。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、「今日の話を1つにまとめると『日常はずっと続かない』ということ。災害だけでなく、都市計画も実は同じ。ある日突然自宅の近所にパチンコ屋が建つ、というのはよくある。用途地域を調べれば、何が建てられるのかは分かる。普段は気にしていないので、今の状況がずっと続くと思いついて。情報をちゃんと入手して、自分が住んでいるまちを理解することが重要。災害についても、過去の歴史を勉強し、まちの長老クラスに語ってもらって経験や知恵を引き出すなど、データ+経験が大切である。」とのお話がありました。